

当社の製品群は「安心・安全」「防災・減災・復旧」「環境・エコ」をコンセプトに開発を推進しています。

代理店通信 55 宮城県

今回は、グランドセルの販売にご協力いただいているJFE商事テールワン株式会社様より、グランドセルのり面保護工法の採用事例をご紹介します。

産業廃棄物処分場工事における 湧水処理でグランドセル® のり面保護工法を採用!!



JFE 商事テールワン株式会社
東日本地盤・斜面事業部付 部長

原田 篤成
出身地：兵庫県

■ 施工概要

施主：公益財団法人 宮城県環境事業公社
工事名：新産業廃棄物最終処分場建設工事
施工会社：大林組・クボタ環境・西武建設・若生工業・
総武建設 JV
施工規模：GS-100LP：333 枚（12,148㎡分）

今回、宮城県大和町にある最終処分場建設工事にてグランドセルのり面保護工法を採用して頂いた事例についてご紹介します。

宮城県では、安定的な産業廃棄物処理基盤の確保を目的とし、老朽化・容量不足が進む既存処分場の後継として新たな処分場の建設工事が進められております。元々は施工者より別件でグランドセルのお問い合わせを頂いたことをきっかけに、継続的に営業を行っていたところ、埋立地貯留施設の掘削のり面にて急遽発生した湧水対策工についてご相談を頂きました。

当初計画されていた対策工は、鋼製のかごマット工でしたが、突発的な工事であり、工期も圧迫されるため経済性や施工性に優れたグランドセルのり面保護工法を提案いたしました。

【提案のポイント】

- ①優れた施工性→フレキシブルな構造で、のり面に合わせて柔軟に設置が可能。施工も容易で工期短縮を図ることが可能。
- ②高い排水性→砕石層を面で定着させることが可能。
- ③省スペース→コンパクトな荷姿により、一度に多くの製品を搬入可能。



- ④優れた耐久性→腐食に強いため、厳しい環境下でも錆びることなく長期間性能を維持。

当初は、施工性や排水効果、安定性などに疑問を持たれ試験的な採用ではありましたが、実際に施工が進み、施工スピードや施工性、機能性について評価されたため継続採用が決められました。現在では、掘削が進み湧水箇所が拡大する中、規模は当初計画の数倍となり、現在も工事は継続中です。

【最後に】

当社はテールアルメ工法のメーカーですが、テールアルメ事業をコアに様々な商材も積極的に拡販する活動を会社全体で取り組んでおります。自身の営業軸も設計コンサルタント様向けの中長期的な設計折り込み活動だけではなく、本現場のように現場へ直接訪問し商機を見出すような短期的な活動も行うことで、全方位に向けて営業を行うことを心がけています。そのような中で、テラセル・グランドセルはまさに顧客に広く受け入れられる打ってつけの商材だと思っております。今後も幅広い分野に向けて展開して参りますので、引き続きよろしくお願いたします。



未来のエネルギーを足元から支える ～送電インフラの「工期」と「環境」を守る グランドセル®擁壁の挑戦～

テラセル®擁壁工法

NETIS登録番号: KT-090023-VE
(2020年3月掲載満了)



東京インキ株式会社
仙台営業所 所長

佐藤 輝

出身地: 埼玉県

■ 送電インフラの「いま」

現在、カーボンニュートラル社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入拡大とともに送電網整備が急速に進められています。東北においても山岳地帯で大規模な送電設備の建設が進む中、現場では《安全》と《工期》の両立が大きな課題となっています。

■ 現場を悩ませる「施工の壁」

近年の集中豪雨により仮設道やのり面の流出リスクが高まる中、山岳部での鉄塔建設では従来の工法では対応が難しい「壁」が顕在化しています。

- **大規模な掘削**: 山を大きく削る必要があり、大量の残土搬出が大きな負担
- **重機搬入の制約**: 狭隘な山道では大型重機の進入が困難で、施工計画が複雑化
- **環境への配慮**: 自然保全の観点から、地形改変を最小化する事が求められる

■ グランドセル擁壁が届ける「現場のゆとり」

こうした課題に対し、当社のグランドセル擁壁が注目を集めています。

- **地形を活かした施工**: 地形形状に追従し、掘削量と残土発生を大幅に低減
- **優れた搬入性**: 軽量かつコンパクトなため、山頂部でも人力やヘリでの搬入が可能
- **即時供用が可能**: 設置直後すぐに車両走行が可能で、養生期間を必要としない

送電鉄塔回り



梱包荷姿



再生エネルギー
(太陽光) 回り



電力送電鉄塔



■ ここ、東北から日本全国へ

これまで鉄塔周りののり面保護や豪雨時の災害復旧で培ってきた数々の実績が、現場の信頼につながっています。宮城県にて現在施工中の大規模ソーラー発電所の現場では、当初懸念されていた大規模掘削や大型重機の進入路確保の課題に対し、グランドセル擁壁の導入により現場状況に応じた柔軟な管理道の形成が可能となり、掘削や残土処理の負担を大幅に軽減しました。施工に携わる皆様からは「現場の段取りがスムーズになり、非常に助かっている」とご評価をいただいています。

■ 「三方よし」のチームプレーで全国へ

「現場の不安を、前進する力に変える。」

この取り組みは、当社に加えパートナー企業様、施工に携わる皆様との“三方よし”の連携により支えられています。

日本のこれからのエネルギーを支える発電所と送電網。その整備を足元から支え続けるため、私たちはこれからも挑戦を続けていきます。



Our Purpose

「伝える」「彩る」「守る」ことで、豊かな未来を実現する



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

<https://www.tokyoink.co.jp>

本社 / 〒114-0002 東京都北区王子1-12-4
札幌営業所 / 〒065-0020 札幌市東区北二十条東18-2-1
仙台営業所 / 〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-1-18
新潟営業所 / 〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-25
名古屋支店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山1-12-14
大阪支店 / 〒540-6124 大阪市中央区城見2-1-61
福岡支店 / 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-3

TEL.03-5902-7627
TEL.011-784-7772
TEL.022-274-3531
TEL.025-245-3141
TEL.052-331-1515
TEL.06-6761-0070
TEL.092-503-8979